

農事組合法人一方井地区営農組合（岩手町）

【活動のポイント要約】

- 一方井地域では、農業従事者の高齢化や労働力不足により調整水田が増加してきたことから、平成 19 年、農地の一元的な管理と機械の共同利用等による効率的な営農を目指し、土地利用調整を担う「一方井地区営農組合（任意組合）」と受託作業を担う「一方井農業機械利用組合」が合併して、「農事組合法人一方井地区営農組合」を設立した。
- 農事組合法人一方井地区営農組合は、土地改良区や自治振興会と連携し、農業用施設や農地の保全管理、景観形成活動等に取り組んでおり、地域住民も参加している。
- また、一方井地区営農組合では、食育、文化・伝統の継承活動を推進したいとの思いから、任意組合設立当初の平成 13 年から、地元の一方井小学校との農作業体験に積極的に取り組んでおり、収穫した作物は、組合の女性部が中心となって地域住民や子ども達とともに加工・調理し、それらを囲んで会食するなど、農作業以外にも地域住民との交流を続けている。
- さらに、農事組合法人一方井地区営農組合が中心となって実行委員会を組織し、平成 29 年から一方井小学校と連携した「田んぼアート」に、令和 3 年からは「デントコーン迷路」にも取り組んでいる。こうした取組は、地元の子供たちに農業者や地域の取組を身近に感じてもらう機会となっているほか、町内外からの家族連れの見学客も増加するなど、農業を通じた観光資源の創出と地域の活性化につながっている。
- 今後は、当地域に古くから根付いている「結（ゆい）」の精神に基づき、これまでの農業者と地域住民が一体となった農地維持管理の活動や、農業を通じた世代間交流の取組などを継続・発展させ、地域農業のみならず、地域の伝統芸能や年中行事など農村文化を継承する担い手として、地域をけん引する存在となることを目標としている。



地域花壇整備植栽



小学校畑作体験



田んぼアート田植え



田んぼアート